社会福祉法人ことぶき令和元年度事業報告書

1. 理事会・評議員会の開催状況

⑴ 理事会の開催状況

区分	開催日	出席人数	監事	議　　案
第１回	1.06.05	９名	１名	①平成 30 年度事業報告及び計算書類等の承認について ②定款施行細則変更の承認について ③経理規程変更の承認について ④次期役員候補者の選任について ⑤定時評議員会招集について
第２回	1.06.19	８名	２名	①理事長の選任について ②業務執行理事の選任について
第３回	01.09.25	７名	２名	①上半期職務執行状況報告について ②上半期事業進捗状況報告について
第４回	01.12.11	９名	２名	①上半期事業活動収支状況について
第５回	02.03.25	９名	２名	①令和元年度補正予算の承認について ②令和２年度事業計画及び収支予算の承認について ③給与規程変更の承認について

⑵ 評議員会の開催状況

区分	開催日	出席人数	監事	議　　案
定時	1.06.19	１０名	１名	①平成 30 年度計算書類等の承認について ②次期役員の選任について

2. 職員状況

⑴ 退職者９名

- 介護老人福祉施設：介護士（正規職員６名）、洗濯員（時間給制準職員１名）
  清掃員（時間給制準職員１名）
- 訪問介護：ヘルパー（時間給制準職員１名）

【退職理由】健康上の理由４名、結婚１名、転職３名、高齢（７３歳）１名

⑵ 採用者８名

- 介護老人福祉施設：介護士（正規職員３名／介護福祉士２名、初任者研修１名）
  清掃員（時間給制準職員１名）
- 通所介護：介護士（時間給制準職員３名／介護福祉士２名、実務者研修１名）
- 訪問介護：ヘルパー（時間給制準職員１名／初任者研修）

3. 防災対策・設備管理等

⑴ 消防訓練の実施　4 月 24 日　昼間想定　10 月 11 日　夜間想定

⑵ 設備点検の実施　灯油地下タンク、電気、ＥＶ、給湯、浄化槽、消防設備等

4. 寄付受入れ状況

月	寄付内容	氏名又は団体名
5 月／10 月	月夜野温泉の湯　２ｔ	伊勢崎中央ライオンズクラブ様
9 月	10,000 円	ヘアーサロンカワノ様
10 月	10,000 円	三郷地区区長会様

5. 健康管理

⑴ 入所者（入居者）

- 6 月～7 月　後期高齢者健診　7 月 30 日　結核健康診断（胸部レントゲン）

⑵ 職員

- 6 月 14 日　全職員対象定期健康診断及びストレスチェック
  （介護職員は腰痛健診実施）／伊勢崎佐波医師会病院検診センター）
- 12 月 9 日～14 日　介護老人福祉施設常勤介護士健康診断／山田内科クリニック

6．主な設備、備品等購入　　【総額】５，２１１，０００円

⑴ 介護老人福祉施設ベッド更新事業（第３期）１０台　　２，１３８，４００円

⑵ 介護老人福祉施設温冷配膳車更新　　２，０９９，５２０円

⑶ 通所介護リハビリ機器　　９７３，０８０円

7．事故発生状況　４７件（前年比－１３）

事　業　所	転倒転落	誤　嚥	介護ミス	その他	計
介護老人福祉施設	20	2	4	0	26(-1)
ケ ア ハ ウ ス	0	0	0	0	0
通　所　介　護	13	0	3	1	17(-9)
訪　問　介　護	0	0	0	0	0
短期入所生活介護	4	0	0	0	4(-3)

《骨折等重大事故の概要》２件（前年比＋１）

- 介護老人福祉施設８２歳女性・要介護度５　左上腕骨折

リハビリ訓練の際、機能訓練指導員が左上腕周囲の腫脹を発見、受診の結果骨折が判明する。拘縮も強く手術はせずに保存療法となり、通院しながら施設で生活することとなる。何日か遡って介助時の様子等検証するも原因特定できず、 自分で動くことができない方のため、介助中の事故が想定されている。(約３か月後に完治)

- 短期入所生活介護８９歳女性・要介護度３　右大腿骨頸部骨折

深夜、夜勤者が巡視の際ベッド横で発見、自分でトイレに行こうとして転んだとのことで足の痛みを訴えており、翌朝整形外科を受診、骨折が判明する。手術はせず施設での保存療法となったため、短期利用を完治まで延長し通院も施設で行うこととなる。その後順調に経過し、現在は歩行器で移動するまでに回復している。

8. 苦情対応状況　２件（前年比±０）

事業所	内　容	対　応
介護老人福祉施設	〈家族より介護士長への相談〉 姉との面会時、面会室まで連れてきてくれた介護士さんの扱いが少し乱暴だったため、不安を覚えてしまった。	該当介護士（新採用）に聞き取りの結果、早く連れて行こうとして焦ってしまい、歩行介助が雑になってしまったとのことで、厳重注意のうえご家族に謝罪する。
訪問介護	〈利用者よりｻｰﾋﾞｽ提供責任者へ〉 依頼した買い物の間違いを注意したら言い返された。	利用者の勘違いで依頼されていない品物について注意されたので、否定したところ口論になってしまった。利用者への不適切な言動について謝罪する。

9. 利用者状況

事　業　所	延利用人数	一日平均	稼働率	平均介護度
介護老人福祉施設	17,792 人 (+29)	48.7 人 (+0.1)	98% (±0)	4.3 (±0)
ケ ア ハ ウ ス	5,035 人 (+186)	13.8 人 (+0.5)	92% (+3)	0.5 (-0.3)
通　所　介　護	7,064 人 (+386)	23.8 人 (+2.2)	63% (+1)	2.0 (±0)
訪　問　介　護	3,136 件 (-209)	10.1 件 (+0.7)	―	1.0 (-0.1)
短期入所生活介護	3,176 人 (-126)	8.7 人 (-0.3)	87% (-4)	3.1 (-0.1)
居 宅 介 護 支 援	1,690 人 (+72)	月 140.8 人 (+6)	―	1.77 (+0.07)

10．職員研修実施状況

月	介護老人福祉 短期入所生活	ケアハウス	通所介護	訪問介護	居宅介護支援
4 月	喀痰吸引及び 緊急時対応	リスクマネジ メント①	倫理及び 法令遵守	倫理及び 法令遵守	
5 月	倫理規程及び 法令遵守	食中毒及び 感染症予防①	廃用性症候群 とリハビリ	記録の書き方	プライバシー 保護
6 月	食中毒予防	褥瘡予防	接遇	認知症ケア	
7 月	リスクマネジ メント①	倫理及び 法令遵守①	アセスメント	接遇・マナー アップ	倫理及び法令 遵守
8 月	身体拘束ゼロ 高齢者虐待①	苦情対応	介護技術	感染症予防	
9 月	褥瘡予防	身体拘束及び 高齢者虐待	非常災害時の 対応	高齢者の疾病 の理解	ケアマネジメ ント
10 月	苦情処理	リスクマネジ メント②	認知症及び 認知症ケア	生活援助	
11 月	感染症予防	認知症及び認 知症ケア	食中毒及び 感染症予防	リスクマネジ メント	認知症及び認 知症ケア
12 月	看取り介護	食中毒及び 感染症予防②	リハビリ講習 会（外部講師）	緊急時及び事 故対応	
1 月	リスクマネジ メント②	プライバシー 保護	プライバシー 保護	プライバシー 保護	
2 月	身体拘束ゼロ 高齢者虐待②	倫理及び 法令遵守②	リスクマネジ メント	高齢者虐待予 防	
3 月	新年度に向け ての業務改善	新型コロナ感 染防止対策	サービス向上 への取組み	事業所及び自 己評価	

11. ボランティア及び実習生受入状況

⑴ ボランティア

受入先	団体名・個人名	内容	人数・回数
介護老人福祉施設	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ協会三郷支部	洗面台清掃	延６８人
	高齢者介護支援ボラ	傾聴	延　４回
ケアハウス	天笠様	いきいきサロン	延２１回
	堀川様	川柳教室	延１０回
通所介護	伊勢崎市介護予防ボラ	ＡＤＬ体操	延１１回
	レクダンスみさと	歌と踊り	延１１回
	高齢者介護支援ボラ	傾聴	延１０回
社会福祉法人	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ協会三郷支部	お祭り手伝い	１６人
	学生	お祭り手伝い	３人

⑵ 実習生

受入先	養成機関・学校名	人数
介護老人福祉施設	三中チャレンジウィーク	４名
	足利短期大学付属高校	１名
	しろがね学園	１名
通所介護	ＩＢＣホールディングス初任者	２名
	教員免許介護等体験	５名
	東京福祉大学社会福祉士	１名
居宅介護支援	介護支援専門員実務研修	１名

※　介護福祉士養成課程の実習生は受入れなし

12. 事業所別総括

⑴ 介護老人福祉施設

- 入退所状況【入所】５名（男１／女４）【退所】５名（男１／女４）前年比－８

今年度は入所者の入れ替えが極端に少なく、退所された方の内訳は入院継続３名、死亡者２名（内看取り１名）となっている。入退所が少なかったことでリスク管理が容易となり、結果として事故の軽減にもつながっている。また看取り目的で病院を退院した方がその後のケアによって食事が摂れるまでに回復されるなど、スタッフの技術向上が伺える事例が２例あったことは喜ばしいことである。

⑵ ケアハウス

- 入退居状況【入居】５名（男１／女４）【退居】６名（男２／女４）前年比＋４

１０年以上当施設で生活していた方が、高齢による心身機能の低下により自立した生活の維持が困難となり、他の介護施設に移るケースが２例あるなど、１５名中６名の方が入れ替わっている。また初期の認知症症状の見られる方も複数生活しており、少しでも長くケアハウスで生活できるよう積極的に援助していきたい。

⑶ 通所介護

- 利用者状況　【新規】２２名　【終了】２０名

今年度は当初から個別機能訓練の充実を目標の中心に掲げ、日課の大幅な見直し、リハビリ研修によるスタッフの資質向上、個々の特性を生かした訓練計画の作成等に取り組んできたが、一年を経過して利用者の筋力ＵＰや歩行の安定が見られるようになり、転倒等の事故の大幅な減少に結びついている。リハビリ目的での利用も受け入れ可能となり、軽介護者のニーズにも対応できる体制が整備されつつある。

⑷ 訪問介護

- 利用者状況　【新規】７名　【終了】９名

開設当初から２０年以上も当事業所を利用されていた方のご逝去を始めとして、複数利用の終了者が多く見られ、年明けから実績が大きく落ち込んでしまった。入

所や死亡による終了は避けられないことであり、現在のサービス提供の見直しと合わせて、新規利用者の獲得に努めていきたい。

⑸ 短期入所生活介護

➢ 利用者状況　【新規】１２名　【終了】１５名

地域利用者のサービス付き高齢者住宅や有料老人ホーム入所の影響で年々実利用人員が減少しており、その対策として３１日超の長期的利用者の枠を５人に増やし実績の安定を図っている状況である。利用に関しては、利用日の延長等の柔軟な対応により利用者・家族共に概ね満足していただいている。

⑹ 居宅介護支援事業

➢ 利用者状況　【新規】３８名　【終了】３６名

今年度よりサービス向上の一環として祝日も営業日とし、なんでも相談室の開設と合わせてより多くの相談を受けられる体制を整備した結果、相談件数・人数共に増加させることができた。地域包括支援センターからの依頼も多く、困難事例にも積極的に対応している。今後は定着してきたおたっしゃクラブをより充実させ、地域の介護予防を更に発展させたい。

13. 令和元年度事業報告附属明細書について

令和元年度事業報告で、社会福祉法第４５条の２７第２項の規定により作成する事業報告の付属明細書は、社会福祉法施行規則第２条の２５第３項で規定する事業報告の内容を補足する重要な事項がないため作成していません。